

- 北陸地方における建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進する協議会及び新潟・富山・石川県部会を平成26年10月に設立。
- 令和4年7月6日に新潟県部会を開催し、新潟県内におけるこれまでの取り組みの情報共有と、令和4年度の取り組みの展開について意見交換を行った。

開催概要

【新潟県部会】 令和4年7月6日（水）10:00～12:00

・〔会場〕 北陸地方整備局 4F共用会議室（Web併用にて実施）

・〔出席機関〕

〔行政〕 北陸地整、信濃川河川事務所、新潟国道事務所、北陸技術事務所、新潟労働局、新潟県土木部、新潟県教育委員会、新潟市

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

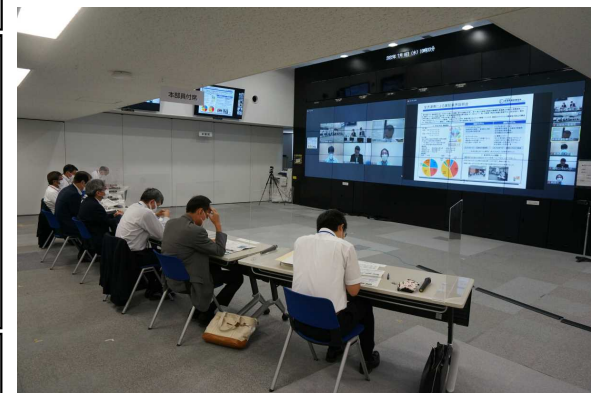
〔教育〕 長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟工業高校、新発田南高校



検討結果

令和3年度はコロナ禍の影響を受けつつも、合同企業セミナーを始め、オンラインツールやDXの活用に係る見学会、普通科高校や小中学生へのアプローチ等、各機関が工夫して様々な取り組みを実施。

令和4年度もwithコロナの中で、これまで培った取り組みの継続と、女子学生や小中学生の保護者を対象としたPR、さらに他の担い手育成に取り組む団体との連携を試行する。



主な意見等

- ・将来の担い手確保につながる建設系学校への進学を増やすため、進路選択時に大きな影響を与える小中学生の保護者や義務教育団体へのPRに取り組む必要がある。
- ・建設界でも女性が活躍されているという点を意識して、女子学生をターゲットとした視点は重要である。
- ・ダイバーシティの一環として女性活躍推進に取り組んでおり、若手技術者ワーキンググループに女性職員を配置しているが、新卒採用で女性採用が増えた実感があり、働き方改革の効果が出ていると思う。
- ・インターンシップについて、実際の事業所に足を運んで職業を経験するというのは、担い手確保そして肌感覚で身に着けるという意味で、大変大事だと考えている。

